

ふりがな 氏名	こまちや ひさこ 小町谷 寿子	職名	教授
取得学位	修士(家政学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	衣生活論 被服構成学 被服構成実習1 被服構成実習2 アパレル生産実習 アパレル造形演習		
所属学会	日本家政学会(色彩・意匠学部会役員:平成20年4月～令和4年度、副部会長;平成25～28年度、部会長;令和3～4年度、中部支部幹事令和2～4年度)、服装史・服飾美学部会役員:平成23年4月～平成24年3月、日本衣服学会:平成28年度～平成31年度幹事、日本繊維製品消費科学会、国際家政学会		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
平成30年度教育特色化推進計画実施、家政学の観点から学ぶ衣食住・消費経済の体験型学習プログラム	平成30年 9月18日 (衣分野)	生活環境学科と家政経済学科で衣食住および消費経済の分野における体験型学習を計画することにより教育特色化を推進した。衣分野ではテキスタイル・マテリアルセンター施設と製織・加工工場を見学して、さらに尾州産地の毛織物素材を中心にしたモノづくりと企画に関する講演会を実施した。食分野では奈良市の郷土料理「柿の葉寿司作り体験」と奈良の食文化を代表する奈良漬や遣唐使によって伝えられた「ぶと饅頭」および仏教文化に学ぶ研修を行った。住分野では日本の住宅の古来における形を現代に継承していると考えられる伊勢神宮の見学と日本建築学会賞を受賞した鳥羽の「海の博物館」を見学した。消費経済分野では、名古屋市消費生活センター等を訪問し、消費者被害の実態や消費生活相談の内容と方法を学び、さらに、消費生活フェアに参加して実践的活動体験を行った。 食分野担当 小出あつみ 間宮貴代子 衣分野担当 小町谷寿子 横山早美 住分野担当 青柳由香 岡村裕次 消費・経済分野担当 三宅元子
平成31年度産学行政連携による意匠糸を用いた毛織物企画プロジェクト	平成31年4月～令和2年3月	近年、大学教育において、アクティブラーニングやPBL(課題解決型学習)など、学生が主体となる学習に加え、産学連携による学習、地域貢献型学習など学外と連携を行う学習が進められている。2016年度より、あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターと連携し、大学と津島毛織工業協同組合が協定を結び、愛知県尾州地域の地場産業である毛織物の製織に関わる技術に関する共同研究・開発をすすめてきた。今回、同じ枠組みで、意匠糸を用いた織物企画、製織、アパレル作品の制作と学外展示をした。演習や実習を通じた生地規格、設計、製織を産学行政連携で推進し、産業を担う企業人の中で学生の主体的な学びを実践した。 名古屋女子大学 小町谷寿子 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター 田中利幸、松浦勇、加藤良典 津島毛織工業協同組合 安達友彦 他

事 項	実 施 年月(日)	概 要
(一社)日本家政学会中部支部第 20 回院生・学生 発表会学生発表指導 テーマ「産学行政連携による 織物企画とアイテム制作ーウエディングドレスとタ キシードー」	令和 2 年 2 月 15 日	産学行政連携プロジェクトにおいて、あいち産業科学技術総 合センター尾張繊維技術センターで織物企画に関する研修 を受け、産学行政メンバーが連携して尾州の技術を活用した 織物企画を行い、企画したオリジナルテキスタイルを使った 作品制作を指導し、その成果を院生・学生発表会にて発表さ せた。 発表 生活環境学科 4 年 八木美咲 熊谷知恵 木浦琴音 大河内咲帆 指導教員 <u>小町谷寿子</u>

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	産学行政連携による尾州毛織物共 同制作と教育効果 (査読有)	共	平成 30 年 9 月	日本衣服学会誌 Vol.62 No.1	<u>小町谷寿子</u> 、岩井麻佑子、 榊原彩綺、羽田百花、 島上祐樹、宮本晃吉、 田中利幸 p.23-32
	「開ける」行動を誘導する色彩と表 示方法の検討 (査読有)	共	平成 31 年 3 月	日本家政学会誌 Vol.70 No.3	山下健、内藤章江、 <u>大澤香奈子</u> 、 <u>小町谷寿子</u> 、 石原久代、橋本令子 p.22-31
紀 要	尾州毛織物をテーマとした産学行 政連携プロジェクト	共	平成 31 年 3 月	名古屋女子大学紀要 第 65 号 家政・自然編	<u>小町谷寿子</u> 、岩井麻佑子、 榊原彩綺、羽田百花、 島上祐樹、宮本晃吉、 田中利幸、安達友彦、 山田和弘、伊藤美幸 宮田雅弘 p.103-116
学会発表	アパレル分野における色彩調和の 検討(1)ー色相の調和範囲ー	共	平成 30 年 5 月 27 日	(一社)日本家政学会第 70 回大会 (日本女子大学)	石原久代、鷺津かの子、 大澤香奈子、 <u>小町谷寿子</u> 、 畑久美子 (一社)日本家政学会第 70 回 大会研究発表要旨集p117
	Prezi を用いた被服製作ビジュアル コンテンツの試作	共	平成 30 年 9 月 1 日	(一社)日本家政学会中 部支部第 63 回大会 (名古屋文理大学)	<u>小町谷寿子</u> 、石原久代 (一社)日本家政学会中部支部第 63 回大会研究発表要旨集 p117

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	アパレル分野における色彩調和の 検討(2)－色票による色相の調和 －	共	令和1年 5月25日	(一社)日本家政学会第 71回大会 (四国大学)	石原久代、鷺津かの子、 <u>小町谷寿子</u> 、熊田亜矢子、 戸田賀志子、畑久美子 (一社)日本家政学会第71回 大会研究発表要旨集p111
	アパレル分野における色彩調和の 検討(3)－トップスとボトムスのカラ ーコーディネート	共	令和1年 5月25日	(一社)日本家政学会第 71回大会 (四国大学)	鷺津かの子、 <u>小町谷寿子</u> 、 熊田亜矢子、畑久美子、 戸田賀志子、石原久代、 (一社)日本家政学会第71回 大会研究発表要旨集p111
	アパレル分野における色彩調和の 検討(4)－アイテムによる色彩調 和の差異－	共	令和2年 5月31日	(一社)日本家政学会第 72回大会 (高崎健康福祉大学主 催)	石原久代、鷺津かの子、 <u>小町谷寿子</u> 、熊田亜矢子、 戸田賀志子、畑久美子、 (一社)日本家政学会第72回 大会研究発表要旨集p112
	色彩調和に関与する色差の検討	共	令和3年 5月30日	(一社)日本家政学会第 73回大会 (神戸女子大学オンライ ン開催)	石原久代 加藤千穂 <u>小町谷寿子</u> 、鷺津かの子 (一社)日本家政学会第73回 大会研究発表要旨集p104
	産学行政連携による意匠糸を用い た毛織物企画と教育効果	共	令和3年 10 月 30日	日本衣服学会第 72 回 (令和3年度)年次大会 オンライン開催 (金城学院大学 事務局名古屋女子大学)	<u>小町谷寿子</u> 八木美咲 熊谷知恵 木浦琴音 大河内咲帆 日本衣服学会第 72 回年次大会研 究発表および特別講演要旨集 p36-37
	2色配色の面積比が色彩調和に及 ぼす影響	共	令和4年 5 月 29日	(一社)日本家政学会第 74回大会 (九州支部オンライン開 催)	石原久代 岡田弥子 加藤千穂 <u>小町谷寿子</u> 山縣亮介 (一社)日本家政学会第74回 大会研究発表要旨集p82
	2色配色の形状が色彩調和に及ぼ す影響	共	令和4年 5 月 29日	(一社)日本家政学会第 74回大会 (九州支部オンライン開 催)	山縣亮介 加藤千穂 <u>小町谷寿子</u> 山下健 石原久代 (一社)日本家政学会第74回 大会研究発表要旨集p82
	19世紀アメリカにおける軽衣料の 生活への浸透	単	令和4年 9 月 17日	(一社)日本家政学会中 部支部第66回(2022年 度)大会 (椋山女学園大学)	<u>小町谷寿子</u> (一社)日本家政学会中部支部 第66回(2022年度)大会 一般公開講演会・研究発表会要旨 集p29

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
展 示	産学行政による人材育成事業につ いて(共同出展)	共	令和 2 年 2 月 19 日～ 21 日	17th Japan Yarn Fair & 総 合展「THE 尾州」 一宮市総合体育館 (愛知)	津島毛織物工業協同組合、 名古屋女子大学、あいち産業科学 技術総合センター尾張繊維術セ ンターとの共同出展 名古屋女子大学代表 <u>小町谷寿子</u> 、他 14 名
講 演	産学行政連携による尾州毛織物共 同制作プロジェクト (招待講演)	単	平成 30 年 9 月 22 日	「芭蕉布の科学」特別企 画シンポジウム「ここから の芭蕉布、これからの芭 蕉布」 (沖縄科学技術大学院大 学(OIST))	<u>小町谷寿子</u> 主催: 沖縄科学技術大学院大学 協力: 沖縄県立博物館・美術館、 喜如嘉芭蕉布事業協同組合 後援: 沖縄県、大宜味村、 沖縄科学技術大学院大学発展促 進県民会議